

たかさう 連携だより

2026年発行
第232号
5月号

地域連携症例検討会

脳神経内科・脳神経外科 2~3

脳神経内科部長 平柳 公利
脳神経外科医師 高橋 健太郎

専門・認定看護師紹介 4

呼吸器疾患看護認定看護師 安藤 花織

緩和ケアニュース 5

薬剤部だより 6

栄養だより 7

ほっと・さろん年間予定のご案内 8

異動医師のご紹介 9

地域医療連携登録医のご紹介 10~11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

中之条
霊山高山
道の駅

提供：患者サポートセンター スタッフ

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

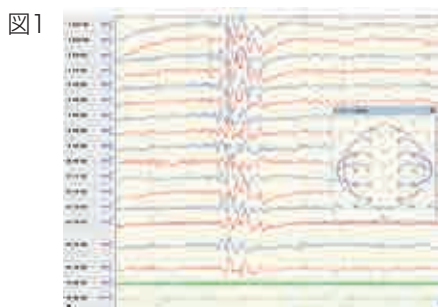
- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

脳神経内科・脳神経外科疾患の
診断と治療の連携

脳神経内科

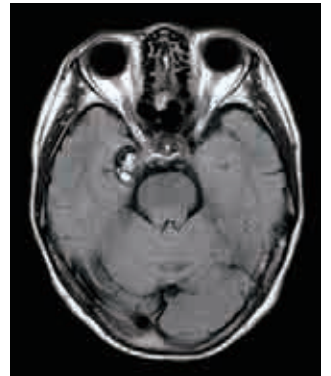
先般の第62回地域連携症例検討会では、多数の先生方にご参加をいただき誠にありがとうございました。当科からは「意識障害」をテーマに、年齢層の異なるてんかんの2症例を提示させていただきました。

1例目は意識消失発作で受診した17歳男性で、脳波検査で若年ミオクロニーてんかんと診断された症例です（図1）。この疾患はいわゆる全身強直性痙攣で発見されることが多いですが、痙攣発作を起こす前に、手のピクつきや呼びかけに応じないなどの発作が見られることが多いとされています。特に朝起床後30分以内に起こりやすいため、このサインに気づくことが早期発見の鍵となります。治療の第一選択薬のバルプロ酸は女性では胎児への催奇形性、若年者では学力低下を招く恐れがあるため、近年ではレベチラセタムなど新規抗てんかん薬が選択されるケースも増えてきています。適切な治療により発作寛解を維持することも可能で、自動車運転を含め普通の生活が可能となります。



2例目は短時間の意識消失、見当識障害が見られた71歳女性で、当初は気分障害と診断されていましたが、頭部MRIで右内側側頭葉の海綿状血管腫を認め、症候性てんかんと診断されました

図2



（図2）。てんかんは小児の病気と思われがちですが、60歳を過ぎると脳血管障害や脳腫瘍などが原因となって発症する症候性てんかんが急増します。今回の症例のように、高齢者のてんかん発作は急にぼんやりする、記憶が抜け落ちる、といった症状で発症することがあるため、認知症やうつ病と誤認されやすい点に注意が必要です。この患者さんも抗てんかん薬を服用後には発作は消失し、平穏な生活を取り戻しました。

我々脳神経内科医は、今回紹介したてんかんの他、脳梗塞、頭痛、認知症などのcommon diseaseから、神経難病のような希少疾患まで幅広く診療を行っております。仮に想定される疾患がなかったとしても、先生方が患者さんの診療を行っていて「何かおかしい」と感じられた際には、患者さんを当科へ紹介いただくこともご検討いただければ幸いです。





座長
石黒 幸司 先生
(もてき脳神経外科)

脳神経内科部長
平柳 公利
(左)

脳神経外科医師
高橋 健太郎
(右)



脳神経外科

先般の地域連携症例検討会では、多数の先生方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

この度はご紹介いただきました、短期間に再発を繰り返す慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術と迅速なご紹介により後遺症なく救命できた急性硬膜外血腫について報告をいたしました。

慢性硬膜下血腫は高齢者において頻度の高い疾患であり、地域の先生方から日頃より多くの患者さんをご紹介いただいております。その一方で1割から2割程度の高い再発率を特徴とする疾患であり複数回穿頭血腫ドレナージ術を必要とする患者さんも少なからずいました。

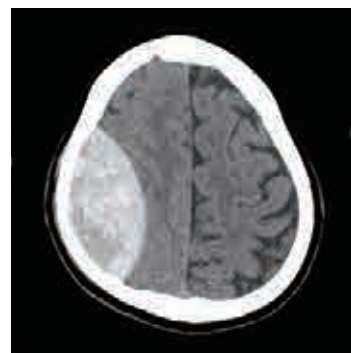
2000年頃より慢性硬膜下血腫再発例に対し中硬膜動脈塞栓術の有用性が報告されて以来、当方でも一般的な治療として認知され行われてきております。

今回報告させていただいた症例に関しても短期間に再発を繰り返す症例であり、中硬膜動脈塞栓術以降は再発なく経過しております。引き続き初発の慢性硬膜下血腫の症例はもとより、当院から外来フォローをお願いした症例で再発を繰り返す症例に関しても上記治療の適応となる可能性もありますのでご紹介いただけますと幸いです。

2つ目の症例は受傷後10時間程度経過の後、前医を受診され、当科紹介となり緊急開頭血腫除去



術により後遺症なく救命できた症例です。急性硬膜外血腫は意識清明期があることがあり手術のタイミングを逃すと死亡率や後遺症率が高い疾患で迅速な対応が求められます。今回の症例は地域の先生が迅速に診断、ご紹介していただき迅速な治療を行うことができ良好な経過となりました。



当科は4人の脳神経外科専門医により脳卒中、外傷、脳腫瘍などの診療を担当しており、脳神経内科とも協力しながら24時間365日体制で診療を行っております。

地域連携枠への紹介はもちろんのこと緊急性の高い脳卒中、外傷については救急外来で対応可能ですので引き続きご紹介いただけると幸いです。



専門・認定 看護師紹介

呼吸器疾患看護
認定看護師

安藤 花織

超高齢化社会の現在、日本人の死因では肺炎や誤嚥性肺炎が上位を占めています。またタバコ病と呼ばれるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)は潜在的な患者数が非常に多いと言われており、誰もが直面しうる国民的な課題です。高崎・安中地区においても、こうした呼吸器疾患を抱えながら生活する方が増えています。

COPDや間質性肺炎などの非がん性呼吸器疾患は、徐々に進行しながら時折急激に悪化(増悪)を繰り返すという特徴があります。そのため疾患の各病期と患者さんの症状に応じたケアが重要となってきます。また、疾患の進行に伴い、9割以上の患者さんが息苦しさを感じると言われており、その苦痛は歩く、食べる、会話するといった「当たり前の日常」を困難にし、大きな不安をもたらします。呼吸器疾患看護認定看護師としての役割は、各病期における増悪予防のためのセルフマネジメント支援や、呼吸困難の緩和を行い、患者さんが穏やかな日常生活を送れるようにすることです。

現在、当センターにおいて呼吸器疾患看護認定看護師は私一人です。そのため、クリティカルケア認定看護師とも連携し、医師や臨床工学技士、理学療法士らと共に活動する「RST(呼吸サポートチーム)」の一員として、人工呼吸器装着中患者さんに対し多職種と連携しながら一貫したケアを提供しています。

今後、NHF(ネーザルハイフロー)やNPPV(非侵襲的陽圧換気療法)などの呼吸を補助する機械を使用している患者さんへのケアや、在宅酸素療法の導入・使用中の患者さんへの支援にも力を入れていきたいと思っています。



緩和ケア ニュース

高崎総合医療センターの 緩和ケアチームについてご紹介します

緩和ケア
って何？



緩和ケアとは、病気にともなう
「こころ」と「からだ」の痛みをやわらげることです

当院の「緩和ケアチーム」は、医師・看護師・心理士・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカーなど、様々な職種が協力しサポートします。

緩和ケアって
どこで受け
られるの？



当院では、外来通院中も入院中も緩和ケアを受けられます

外来通院中は「疼痛緩和内科」の外来でサポートします。
入院中は「緩和ケアチーム」として病室に伺いサポートします。
緩和ケアをご希望の際は、主治医や看護師にお声かけください。

緩和ケアって
どんな病気の人が
受けるの？



主にがんと診断された人が多いですが
がん以外の病気の方も受けられます

緩和ケアと聞くと“病状が悪くなった時”をイメージすることも多いですが、決してそうではありません。

病気と共に自分らしく生きていくためには、病気の診断時から「こころ」と「からだ」のつらさをやわらげる緩和ケアが重要です。

緩和ケアをご希望の時は、担当医や看護師にお声かけください

疼痛緩和内科
外来

- 場所 別館2階 診察室55
- 時間 毎週火曜日～金曜日の午後
- 予約 主治医からの紹介で予約可能



薬剤部だより

薬剤部 間庭 法子

薬剤師と考える、余ってしまったくすりの管理

「いつか使うかも」と、ご自宅の薬箱に飲み忘れた薬がたまっていますか？飲み忘れたりして自宅に余った薬のことを残薬といいます。実はこの「残薬」は医療現場において深刻な問題となっています。

厚生労働省の推計によると全国の残薬は年間500億円にのぼると指摘されています。これらは本来、私たちの貴重な保険料や税金から支払われたものです。また、自宅に余った薬を誤って服用したり、古くなったりして予期せぬ副作用を招くことがあります。

なぜ薬が余るのでしょうか？「薬が効いていない気がする」「錠剤が大きくて飲みにくい」「副作用が怖い」などの理由で服用をやめてしまったり、忙しくてうっかり服薬を忘れてしまった、仕事の関係で昼の薬を飲むタイミングがないなど、さまざまな理由が考えられます。自己判断で薬を中止したり減らしたりすると、医師は「薬を飲んでいる」前提で診断を行うため本来不要な薬の追加が行われることがあります。

残薬があるときは、医師や薬剤師に相談することが大切です。余った薬をかかりつけ薬局にお持ちいただければ、薬剤師が薬の残数や有効期限を確認し次回の処方日数を調整します。（ただし一度処方された薬剤は返金や返品はできません。）飲み忘れが多い場合は服薬方法を一緒に検討します。一包化（複数の薬をひとつの袋にまとめる）にしたり配合錠（2剤を1剤にまとめる）にしたりします。またライフスタイルに合わせて服用タイミングを変更することが可能な場合があります。例えば、朝は忙しいため服用時間を夜に変更したいなど薬剤師に相談してみてください。

残薬を報告することは決して悪いことではありません。医療資源を守り、安全にお薬を使っていただくために薬剤師がお手伝いできることがあります。ぜひお気軽に「薬が余っていて…」とご相談ください。



栄養だより

新茶の季節を楽しみましょう

5月は「新茶」の季節です。新茶とは、その年の春に初めて摘み取られたお茶のことで、香りがよくさわやかな味わいが特徴です。「新茶を飲むと一年を元気に過ごせる」ともいわれ、昔から親しまれてきました。

お茶には、体にうれしい成分が含まれています。代表的なのがカテキンです。カテキンには抗酸化作用があり、体内で発生する活性酸素を抑える働きがあるといわれています。また、お茶に含まれるテアニンという成分は、リラックス効果をもたらすとされています。さらに、お茶にはビタミンCも含まれており、健康づくりをサポートしてくれます。

新茶は香りが豊かで飲みやすいため、食後やほっと一息つきたい時にもおすすめです。ただし、お茶にはカフェインも含まれているため、夜遅い時間の飲み過ぎには注意しましょう。また、胃の弱い方は空腹時を避けて飲むと安心です。

お茶は水分補給の一つとしても取り入れやすい飲み物です。これから暑くなる季節に向けて、こまめな水分補給を心がけましょう。旬の新茶を楽しみながら、日々の健康づくりに役立ててみてください。

新茶をおいしく入れるコツ

新茶は香りとやわらかな甘みが特徴のお茶です。おいしく飲むためには、お湯の温度がポイントになります。

- 1 **お湯は少し冷ましてから**
熱湯ではなく、70～80℃程度のお湯で入れると、苦味が出にくく新茶の甘みを楽しめます。
- 2 **茶葉は急須に小さじ1杯程度**
1人分の目安は約2～3gです。
- 3 **1分ほど蒸らす**
急須にお湯を注いだら、約1分蒸らすと香りが引き立ちます。
最後の一滴まで注ぎ切ると、2煎目もおいしく飲むことができます。



旬の新茶を楽しみながら、ほっと一息つく時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとサロン・たかさき



病気のことや
日々の生活のことなど
お話しませんか？

当センターは、がん患者さんやご家族が自由に参加できるがんサロンを毎月1回開催しています。参加費は無料で、事前の申し込みは必要ありません。皆様のご参加をお待ちしています。

当日は、がんピアサポーター、がん相談支援センターの看護師やソーシャルワーカーも参加します。

日程： 2026年	4月10日 (金)	5月8日 (金)	6月10日 (水)
	7月10日 (金)	8月10日 (月)	9月10日 (木)
	10月9日 (金)	11月10日 (火)	12月10日 (木)
2027年	1月8日 (金)	2月10日 (水)	3月10日 (水)

時間： 13時 30分 ~15時 30分 (途中休憩をはさみます)

場所： 高崎総合医療センター2階 ほっとサロン (患者図書室)

- 当院の駐車場をご利用の場合は、無料になります。駐車券をご持参ください。
- 「ほっとサロン・たかさき」についてのお問い合わせは、高崎総合医療センターがん相談支援センターまでお願いします。
- 電話：027-322-5901(病院代表)

ほっとサロン・たかさき
案内図



異動医師のご紹介

当センターの医師の異動をお知らせします。

医師採用者

診療科	氏名
脳神経内科	唐澤 将紀
消化器内科	齋藤 董
呼吸器内科	黒岩 裕也
呼吸器内科	久野 花凜
心臓血管内科	谷内 亮太
脳神経外科	鹿児島 海衛
乳腺・内分泌外科	尾林 紗弥香
歯科口腔外科	府馬 亮介
歯科口腔外科	佐竹 杏奈
麻酔科	大川 牧生
救急科	川原 康平
小児科	湯原 幸弘
小児科	大関 壘
小児科	吉川 晟羽
外科	関 貴臣
専攻医：期間職員	
脳神経内科	木口 友紀
消化器内科	小倉 南海
消化器内科	小玉 祥平
呼吸器内科	山村 彩
心臓血管内科	佐藤 新之介
心臓血管内科	本多 賢也
整形外科	南館 和輝
整形外科	毛呂 駿臣
泌尿器科	大井 薫子
泌尿器科	箱田 翔
産婦人科	尾崎 佑太
産婦人科	伊吹 蘭
皮膚科	朝鳥 彩子
皮膚科	今井 みちる
形成外科	計良 佳彦
麻酔科	國安 夏実
小児科	中島 悠吾
小児科	木村 優也
小児科	石井 大暉
小児科	小林 慶汰
放射線治療科	森田 大貴
腎臓・膠原病リウマチ内科	内藤 聖
外科	根岸 諒
外科	有馬 大樹
麻酔科（歯科麻酔）	松尾 実奈
小児科	森 瑞樹

医師転出者

診療科	氏名
麻酔科	柳田 浩義
脳神経内科	清水 千聖
脳神経内科	佐藤 星矢
呼吸器内科	若松 郁生
心臓血管内科	柴田 悟
脳神経外科	常岡 明加
乳腺・内分泌外科	本田 周子
産婦人科	高本 悠介
歯科口腔外科	稲川 元明
歯科口腔外科	田中 斉
麻酔科	田中 満理恵
救急科	山田 知義
小児科	新井 修平
麻酔科（歯科麻酔）	新井田 惇
呼吸器外科	牛久保 陸生
専攻医：期間職員	
内分泌・代謝内科	高橋 里奈
内分泌・代謝内科	戸塚 淳
消化器内科	田中 琴
消化器内科	井戸 健太
消化器内科	齋藤 董
心臓血管内科	飯塚 拓巳
呼吸器内科	小林 夏緒
外科	内藤 稜山
脳神経外科	後藤 優太
整形外科	市川 景一
泌尿器科	大屋 裕
産婦人科	太田 康裕
皮膚科	中島 理子
皮膚科	周藤 貴之
形成外科	角田 彩
小児科	尾形 詩音
小児科	前原 利勝
小児科	山下 真沙美
小児科	野村 美緒
腎臓・膠原病リウマチ内科	伍井 友哉

新任医師については
順次紹介いたします。



地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

上中居ファミリークリニック

ごあいさつ

赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、ファミリーで安心して受診できる、地域の皆様に信頼されるクリニックをめざします。



上中居ファミリー
クリニック

医師

清水 雄至
清水 清美



診療科・病院案内

内科・小児科・アレルギー科・呼吸器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	●	△	●	△	△

※専門外来の詳細についてはお問合せください。

群馬県高崎市上中居町411 TEL: 027-326-4155

小児科では、一般外来と健康外来に分離した診察室、待合室で、風邪などの病気の診察から予防接種、乳児健診、育児相談をしています。呼吸器内科、アレルギー科では、各種疾患の診断、治療に加え、スギ、ダニアレルギーの免疫舌下療法も施行しています。

週に1度専門外来として、皮膚科、心理士によるカウンセリングを行っております。

医療法人社団 セキール会 セキールレディースクリニック

院長あいさつ

院長 関守利 (元群馬大学周産母子センター助教授) はドイツ留学の2年間を含めて群馬大学、セキールレディースクリニックで体外受精胚移植の研究および治療に37年以上従事してきたことになります。

漢方治療は日本東洋医学会認定医の関美千子副院長が、不妊治療の最先端技術と漢方治療を見事に融合させてきました。

2006年3月、患者様の満足度をさらに高めること、また医療の質向上を目指すためにISO (国際標準化機関) 9001の認証を取得しました。認証取得後は年に一度の維持審査に加え、3年に一度の再認証審査を受け継続認証されています。

また、2006年10月にはJISART (日本生殖補助医療標準化機関) の認定を受けました。

認定後は3年に一度の継続施設認定審査を受け、継続認定施設になっています。

2017年4月に高崎駅東口徒歩5分の場所に移転しました。



医療法人社団セキール会
セキールレディース
クリニック

院長

関 守利

診療科・病院案内

婦人科・不妊治療・漢方外来・心理カウンセリング・遺伝カウンセリング

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	●	●	●	●	●	●	●
午後	●	●	●	●	●	●	●

※完全予約制

●婦人科

月・火・木・金 9:30~19:30
水…………… 9:30~16:30
土日祝………… 10:30~16:00

●漢方外来

月・水………… 10:30~ 15:20~
火・金………… 16:00~ (AM休診)
土(第1・3・5) 10:30~ ※PM初診のみ
(第2・4) 14:30~ (AM休診)
休診: 木・日祝

群馬県高崎市栄町17-23 TEL: 027-330-2200

よねもと整形外科 リウマチ・骨粗しょう症クリニック

院長あいさつ

当院は県内専門施設でリウマチ診療を長年行っていた二名の医師中心に診療を行っております。クリニックという地域に密着した利便性を生かしてより早めに診断し、薬の治療を始め、必要な方にはリハビリも行う事で将来の体の障害を軽くする事を目指し、「骨と関節の未来のために」整形外科、リウマチ、リハビリ、骨粗しょう症を中心にお役に立てるよう精一杯努めてまいります。

患者さんの気持ちに寄り添い、よりよい治療をご提案いたします。



よねもと整形外科
リウマチ・骨粗しょう症クリニック
院長

米本 由木夫
副院長
岡部 興一

診療科・病院案内

整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~18:00)	●	●	●	●	●	△	△

※ 医師のご希望がありましたらお気軽に窓口にお伝えください。
群馬県佐波郡玉村町南玉960 TEL: 0270-30-6300

当院は通常の整形外科に加えてリウマチ、リハビリ、骨粗しょう症を得意としたクリニックです。整形外科疾患・リウマチ性疾患では単にその場の症状を取る治療では徐々に体が不自由になっていく事も多く、また骨粗しょう症は症状も無いことも多いため治療せず気が付いた時には骨折を繰り返し歩けなくなることもあります。当院では症状をとる事だけでなく、今後の体の不自由が進まないよう患者様の将来を見据えて治療を行っています。お困りごとがありましたらぜひお気軽にご相談ください。

星野歯科クリニック

院長あいさつ

1978年の開院以来、地域に根ざし「抜かない、削らない」を掲げた患者様本位の治療を提供しています。PCを用いた分かりやすい説明に加え、院内技工により安心・安全な詰め物・被せ物の提供を実現。予防歯科に注力しており、治療と予防の両面でお口の健康をサポートいたします。



星野歯科
クリニック
院長
星野 信明

診療科・病院案内

歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後(14:00~18:00)	●	●	●	△	●	●	△

※ 休診日が変更の場合もあります。診療カレンダーにてご確認ください。
群馬県高崎市緑町4-12-5 TEL: 027-362-7792

MTM (メディカルトリートメントモデル) を導入しており、10名を超す歯科衛生士が予防に関する個別プログラムをたて、口腔内検査からブラッシング指導、歯石除去などに力を入れています。また、最先端機器で痛みの少ない治療を行う歯科医院です。バリアフリー設計でベビーカーや車いすでも安心して通院いただけます。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、
脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、放射線診断科、
放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

概ね30分 11,000円（消費税込み）

※2025年6月1日から

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

2026年4月1日現在

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 <small>午前</small>	(木村 彰仁) <small>午前</small>	(田村 耕成) <small>午前</small>	佐藤 正通 <small>午前</small>	佐藤 正通 <small>午前</small>
栄養食事指導外来		佐藤 正通 <small>午後</small>	佐藤 正通 <small>午後</small>	(合田 史) <small>午後・総合診療感染症外来</small>	
腎臓・膠原病リウマチ内科	内藤 聖 <small>午前：新患</small>	(都野 柚香) <small>午前</small>	渡辺 光治 <small>午前</small>	内藤 聖 <small>午前</small>	中里見 征央 <small>午前</small>
		中里見 征央 <small>午前</small>		渡辺 光治 <small>午後</small>	
血液内科	(三井 健揮) <small>午後</small>				
内分泌代謝内科	渋沢 信行	(高橋 里奈) <small>午前</small>	植原 良太	渋沢 信行	渋沢 信行
		(植原 正也)			植原 良太
脳神経内科	平柳 公利 木口 友紀	平柳 公利	唐澤 将紀 木口 友紀	柴田 真	木部 朱理
呼吸器内科	山村 彩 久野 花凜	細野 達也 倉島 優理亜	小林 頂 (田口 浩平)	中川 純一 黒岩 裕也	細野 達也 根生 明季
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 成清 弘明	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 成清 弘明	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 小玉 祥平	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 齋藤 堇	上原 早苗 佐野 希望 書上 愛 小倉 南海
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / (井戸)	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌樹 村田 智行	高橋 伸弥 大駒 直也	広井 知歳 羽鳥 直樹	福田 延昭 高橋 洋右	小林 紘生 谷内 亮太
新患外来(午前)	福田 延昭	福田 延昭	高橋 伸弥	羽鳥 直樹	福田 延昭
不整脈外来(午後)	太田 昌樹		太田 昌樹		小林 紘生
心不全総合外来(午後)		高橋 伸弥		高橋 伸弥	
ペースメーカー外来(午後)					太田 昌樹
精神科	山崎 雄高	山崎 雄高	山崎 雄高	山崎 雄高 (神出 誠一郎)	山崎 雄高
小児科	溝口 史剛 吉川 晟羽 中島 悠吾 大関 望 五十嵐 恒雄	溝口 史剛 倉田 加奈子 田口 未奈 大関 望 五十嵐 恒雄 木村 優也	倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 五十嵐 恒雄 石井 大暉 (滝沢 琢己) <乳児健診>	倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 小笠原 聡 小林 慶汰 (春日 夏那子) (八木 龍介)	佐藤 幸一郎 小笠原 聡 湯原 幸弘 五十嵐 恒雄 (浅見 雄司)
小児外科	(西明・高澤慎也) <small>第1,3週午後</small>		(西明・高澤慎也) <small>第3週午後</small>		
外科 (消化器)	坂元 一郎 鈴木 雅貴 関 貴臣	小川 哲史 真木 茂雄	家田 敬輔 大菅根 勝也	平井 圭太郎 有馬 大樹	宮前 洋平 根岸 諒
栄養サポート外来		小川 哲史			
禁煙外来		小川 哲史 <small>午後</small>			
ストーマ外来			第2,4週午後・予約	予約	

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはこちらの二次元コードよりご確認ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和8年4月1日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聡太 大井薫子	柴田康博 栗原聡太 大井薫子	交代制	柴田康博 井上雅晴	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 尾林紗弥香 <手術日>	鯉淵幸生 高他大輔 尾林紗弥香	高他大輔 尾林紗弥香	(中澤祐子) 第2,4週午前 <手術日>	鯉淵幸生 高他大輔 尾林紗弥香 第1,3,5週午後 交代制 第2,4週午前 <手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	羽鳥恭平 伊部崇史	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 新井萌々花 第1,3週午前/第5週午前・午後 第2,4週	<手術日>	高坂貴行 新井萌々花 午後	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 毛呂駿臣	荒毅 一ノ瀬剛 南館和輝	新井厚 茂木智彦 <手術日>	一ノ瀬剛 大島淳文 南館和輝
骨粗鬆症外来		新井厚 午後			
形成外科	交代制 午後 <手術日>	正田晃基 高井美那 午後	正田晃基 高井美那 計良佳彦 第1,5週午前/第2,3,4週午後 第2,3,4週午前/第1,5週午後 午後	高井美那 計良佳彦 午後 <手術日>	正田晃基 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳	連携枠 午前	<手術日>	鹿兒島海衛	佐藤晃之
皮膚科	交代制	岡田悦子 今井みちる	岡田悦子 朝鳥彩子	今井みちる (井上千鶴) 午前	岡田悦子 朝鳥彩子
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 尾崎佑太	<産後健診> (小林祥) 午前	伊吹蘭 (金井眞理) 午前 (森田晶人) 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 笠井健一郎 紹介予約 <手術日>	土屋明 笠井健一郎 <手術日>	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	<手術日>	<手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴 (中川真知)	永島潤 田村翠/森田大貴	永島潤 田村翠/森田大貴 (井上徹朗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 佐竹杏奈 新患外来	<手術日> (荒井亮/辻野啓一郎) 第2,4週のみ	柴野正康 佐竹杏奈	柴野正康 佐竹杏奈 柴野正康 佐竹杏奈 午後 午前	<手術日>
摂食嚥下外来		府馬亮介 午前			府馬亮介 午前

() の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただけますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.59

日に日に世界が悪くなる…

院長 小川 哲史



ウクライナやイランでの理不尽で悲惨な戦争報道を見るにつけ、朝ドラ「ばけばけ」の主題歌「笑ったり転んだり」が心に浮かびます。「日に日に世界が悪くなる。気のせいかな、そうじゃない…」世界には様々な宗教や国があり、様々な民族、人々が暮らしていて、その思想や信条、歴史認識や慣習などが大きく異なっています。そのために起こる紛争は多数あるでしょうが、しかし、そもそも思想とはどのようなもので、どう考えたらいいのか。このことを国民的作家と言われる司馬遼太郎氏が、学徒出陣として先の戦争に従軍した経験を踏まえて繰り返し述べています。

「思想というものは、本来、大虚構であることをわれわれは知るべきである。思想は思想自体として存在し、思想自体にして高度の論理的結晶化を遂げるところに思想の栄光があり、現実とはなんのかかわりもなく、現実とかかわりが無いところに繰り返かえしてという思想の栄光がある。ところが、思想は現実と結合すべきだといふふしぎな考え方がつねにあり、とくに政治思想においてそれが濃厚であり、たとえば吉田松陰がそうであった。(中略)自分の思想を現実世界のものにしようという、たとえば神のみがかろうじてできる大作業をやろうとした。虚構を現実化する方法はただひとつしかない。狂気を発することであり、狂気を触媒とする以外にない。要するに大狂気を発して、本来天にあるべきものを現実という大地にたたきつけるばかりか、大地を天に変化させようとする作業をした。当然、この狂気のあげくの末には死があり、松陰のばあいには刑死があった」。

これは1970年の三島由紀夫の割腹自殺の直後に、「異常な三島事件に接して一文学論的なその死」という評論で、吉田松陰に言及しながら思想に関して論じた文章です。それにしてもすさまじい表現です。

また、松陰と高杉晋作を描いた小説「世に棲む日日」でも、「思想というのは要するに論理化された夢想または空想であり、本来はまぼろしである。それを信じ、それをかっぎ、そのまぼろしを実現しようという狂信狂態の徒が出てはじめて虹のようなあざやかさを示す。思想が思想になるにはそれを神体のようにかっぎあげてわめきまわる物狂いの徒が必要なのであり(中略)思想という虚構は、正気のままでは単なる幻想であり、大うそにしかすぎないが、それを狂気によって維持するとき、はじめて世をうごかす実体になりうる」と、ここでも激しい言葉で批判しています。

司馬氏の思想に対する嫌悪は、氏が終戦時に感じた「日本はなんとくだらない戦争をしてきたのか。いつからこんなバカな国になったのか」という問いに対する一つの答えでしょうが、司馬氏のあまりに苛烈で厳しい表現には驚きます。

1989年に、ベルリンの壁が崩壊し東西冷戦が終結した時、これでやっと平和な世の中が来ると思いました。しかし、その後のパワーバランスが崩れた世界では、これまで抑えられていた民族や宗教の対立が表面化し、各地で争いが勃発し今日まで絶えることがありません。なぜ、戦争は起こるのか。さらに、現在起こっている弱肉強食ともいえる紛争は、思想の違いが原因というより、むき出しの私利私欲、際限のない欲望、他者へのリスペクトが微塵もない非寛容性、等々が大きな原因のようにも思えます。いずれにしろ平和を保つための国際法や決まり事のタガが完全に外れたとしか思えず、その先にあるのは、多数の民衆の死と文明の滅亡でしょう。

「日に日に世界が悪くなる。…野垂れ死ぬかもしれないね。何かあるのかどこに行くのか、わからぬまま家を出て、帰る場所などとうに忘れた…」末世ともいえる世の中における日常を歌ったこの曲、朝ドラが終わった今も心に残ります。2度の悪夢の大戦を経験した人類は進歩し「日に日に世界は良くなる」というのは幻想で、ジョン・レノンが歌った「イマジン」の世界は、まさに夢まぼろしのイマジンなのではないでしょうか。

(4月13日)

Information

第160回キャンサーボード

日時: 2026年5月28日(木)
18:00~

診療科: 消化器内科

会場: 高崎総合医療センター 講堂

対象: 医療従事者

※申し込み不要

5月の
地域連携症例検討会は
休会となります



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索

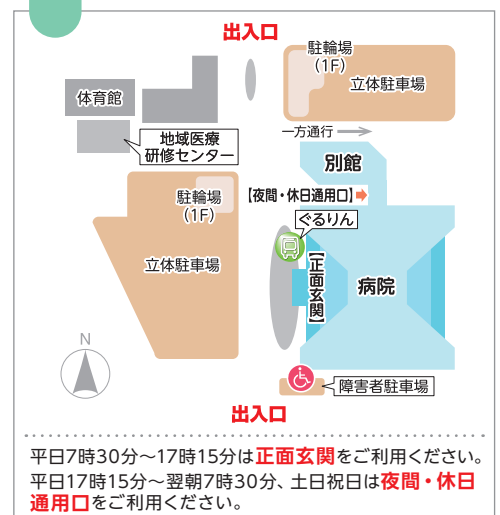


Facebook



Instagram

高崎総合医療センター案内図



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター